

平成24年度 各会計の歳入歳出決算を認定

各会計の歳入歳出決算額

【単位：円】

| 会計名 | 歳入総額 | 歳出総額 | 差引額 | 繰越明渠費 繰越額 | 実質収支額 |
|-------------|---------------|---------------|------------|--------------|------------|
| 一般会計 | 5,063,557,042 | 5,009,645,257 | 53,911,785 | 6,092,000 | 47,819,785 |
| 国民健康保険特別会計 | 644,382,747 | 618,189,413 | 26,193,334 | 0 | 26,193,334 |
| 介護保険特別会計 | 350,788,352 | 336,473,340 | 14,315,012 | 0 | 14,315,012 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 53,795,152 | 53,290,952 | 504,200 | 0 | 504,200 |
| 医療施設特別会計 | 138,866,938 | 138,724,277 | 142,661 | 0 | 142,661 |
| 簡易水道特別会計 | 296,133,073 | 291,294,550 | 4,838,523 | 0 | 4,838,523 |
| 公共下水道特別会計 | 220,860,473 | 219,163,811 | 1,696,662 | 0 | 1,696,662 |

平成24年度一般会計ほか6特別会計の歳入歳出決算は、町監査委員の決算審査意見書と共に提出され、本会議において審議を行った結果、各会計とも認定すべきものと決定しました。各会計の決算額は、上記のとおりです。

主な審議内容

- Q** 旧豊小跡地をソーラー発電用に整地したが、まだ事業が実施されていない。どの様な状況か？
A 資材の調達等で、当初の予定より大幅に遅れている。接続経費の負担等で、北電と事業者が協議中。11月末には結論が出る。
- Q** ソーラー発電事業の土地使料はどうなっているのか？
A 発電事業開始後に使用料が生ずる契約となっている。
- Q** ソーラー発電事業者が変わっているが、今までの契約は破棄されたということか？
A 当初の事業者「ソーラーウエイ(株)」が「いちごECOエナジー(株)」の子会社となり、その後吸収合併され、事業者は、「いちごECOエナジー(株)」となっている。事業は継続すること、契約は有効だが、事業の予定が遅れていることもあり、新しい会社との契約を検討している。
- Q** 国民健康保険の特定検診の受診率が低いのでは？
A 管内比較では低くはないが、道の目標数値には届いていないことから、農業団体、商工団体の検診と合わせて実施していくことで受診率が高くなるように努力している。
- Q** 特定検診の住民への周知が不足では？
A 受診率の低い地域には職員が集まりの場に出向いて検診の必要性などの周知を図っている。

《教育委員会委員の任命》

任期満了となる教育委員会委員に現教育委員長の前川啓一さん（大津幸町）、また、新たに高木みどりさん（幌岡）を任命すると提案があり、これに同意しました。

意見書

▷道州制導入に対する意見書

原案どおり可決され、関係省庁に提出されました。

委員会レポート

産業厚生常任委員会で8月30日に、「農作物の作況について」所管事務調査を行いました。

町内の農作物の作況について、8月30日に開催された町農業改良推進協議会が主催する作況調査に同行して調査した。

調査当日は、町内の9圃場9作物について一圃場ごとの作物の草丈、着莢数などの生育状況や、病害虫の発生状況、農作業の進捗状況及び今後の注意事項などについて説明を受けた。

本年は、4月下旬5月上旬の多雨により甜菜の移植作業や馬鈴薯の植付作業が遅れ、豆類についても多雨・低温によりは種作業が遅れたうえ、7月中旬までは干ばつ傾向にあり、作物全般に生育が遅延傾向にあり心配されていたが、その後高温が続き順調に生育している。

調査時点での作物ごとの生育状況は、豆類については、莢数も多く、平年以上の収量が期待できる状況である。甜菜は、多雨のため移植が遅れたが、病気も少なく、その後の好天により平年を大きく



農作物作況調査

上回り、高収量が期待される。馬鈴薯も、春先のは種作業の遅れや干ばつの影響を受け、生育が停滞しているが、その後の好天により平年並みの収量が見込まれる。

牧草について、1番草は、生育、生収量ともに平年並み。2番草は順調に生育している。デントコーンは平年以上の生育で、台風の影響がなければ良質なものが確保できるものと期待できる。

大根等野菜については概ね順調に生育している。

なお、現地調査は行わなかったが、すでに収穫作業の終了した秋まき小麦については、融雪の遅れや降雨の影響もあつたが、その後の好天により概ね良好となっている。

調査時点での状況は以上のとおりであるが、今後の台風等により作物への影響が懸念されることである。

また、今後においては、病虫害による被害、霜の降りる時期によって豆類の収穫に悪影響を及ぼすことも考えられる。

一部の排水不良圃場においては生育不良がみられることから、全町的に中長期的な明・暗渠排水などの農地基盤整備対策や、平成20年度から行われている土層改良を目的とした排水不良圃場への泥炭客土の継続と効果のある活用方法の検討など、安定的な収量確保に向けた対策を講じることや、本格的な収穫期を迎えるにあたり農作業事故の注意を喚起するよう関係機関等をおしして指導を徹底されたいなどの意見が出された。

滑川市議会議長来町

9月15日に、本町の姉妹都市である富山県滑川市議会議長と久保真人副市長が来町しました。

お二人は、とよこる産業まつりに参加し、当町議員と交流を深めました。



とよこる産業まつり

産業まつりはあいにくの天候でしたが、砂原議長は当町の特産品の秋味、じゃがいも、とよもろこしを堪能して当町をあとにしました。